

Special Resource Program for  
Adolescent: SReP-A  
通級プログラム青年版

Self-advocacy  
自分の権利を守る

# 今日の予定

1. セルフアドボカシーって何だろう
2. サポートについて考えよう
  - 日常レベルのサポート
  - 復習「合理的配慮」
3. 自分に必要なサポートを考えよう

# セルフアドボカシー（自己権利擁護）

可能性を最大限に発揮するために必要な力



自分の困難がわかる



自分に必要なサポートがわかる



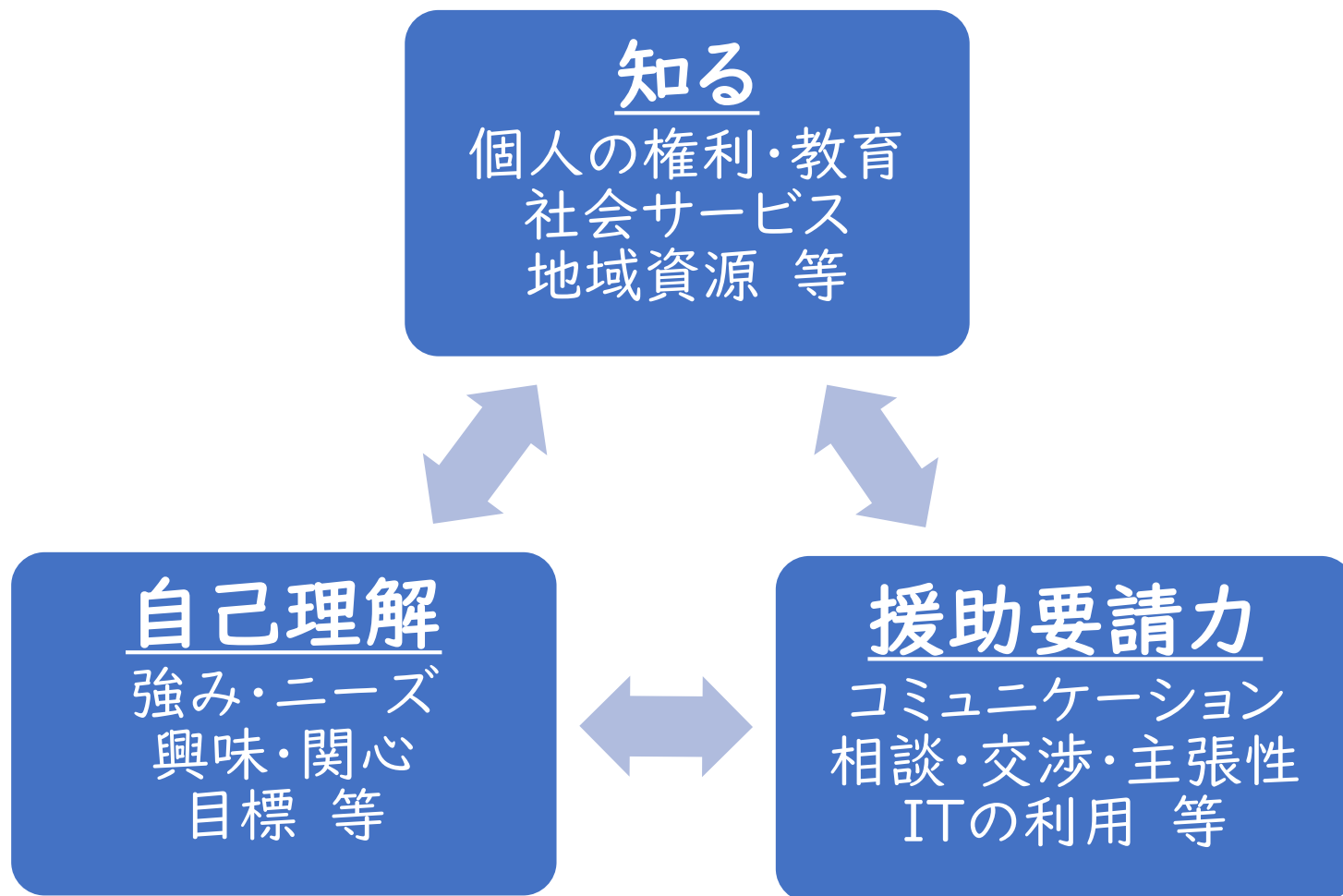
必要な場面でサポートを求める



サポートが必要な理由を説明する

アドボケートスキルはアドボカシーのスキル

# セルフアドボカシー



みなさんは  
自分にどんな権利があるか  
知っていますか？

# さまざまな権利

基本的人権：自由権、参政権、社会権 等

- 平等権：法の下の平等
- 自由権：思想・信条の自由、信教の自由、表現の自由、学問の自由 等
- 参政権：選挙権、被選挙権 等
- 社会権：生存権、教育を受ける権利、勤労の権利、労働三権 等
- 自己決定権

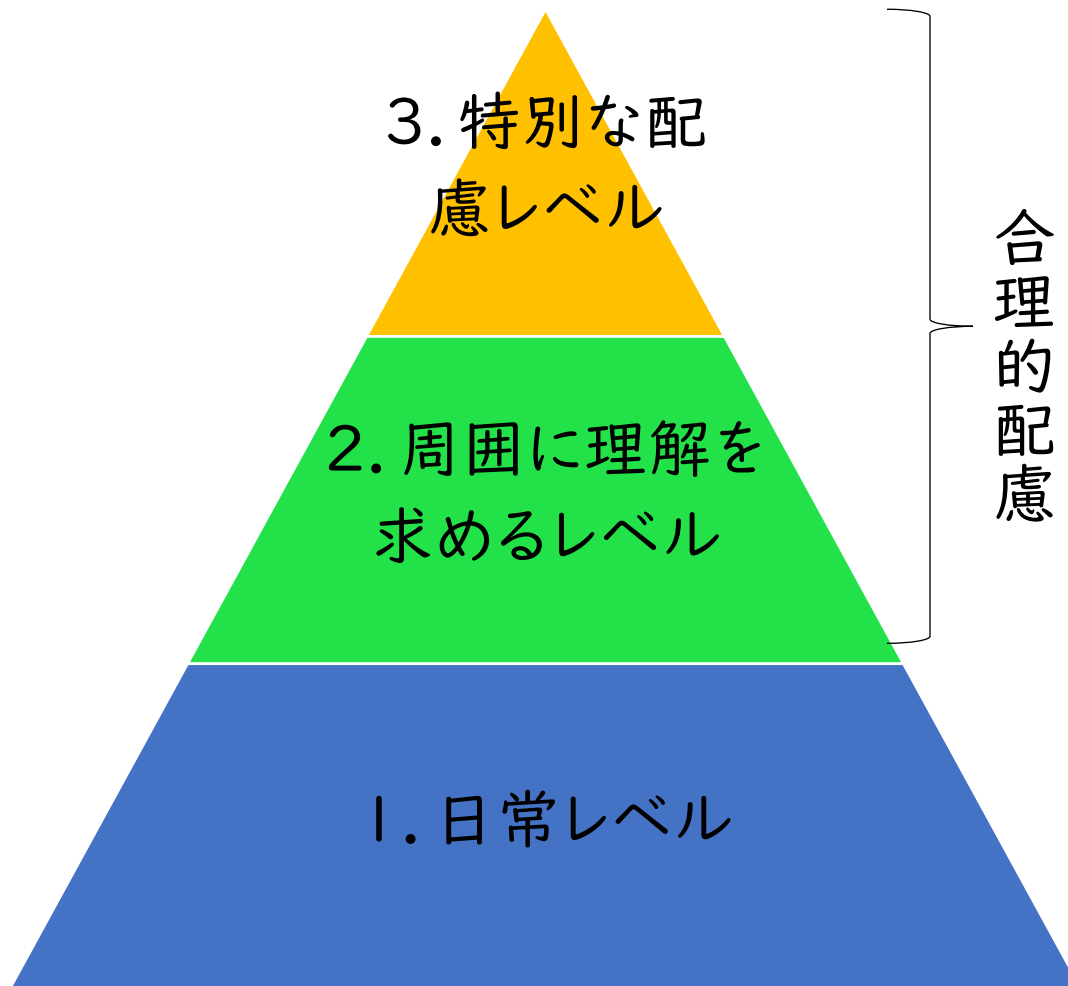
「公共の福祉」に反しない、という条件

サポートを受けるのは恥ずかしい？  
自分で頑張る人が立派な人？

いいえ  
あなたが、  
よりよい成果を上げるために必要  
自分の限界がわかる人が立派な人

サポートについて考えよう

# サポートのレベル



## 具体例

手話通訳・字幕をつける  
試験時間を延長する  
チェック回答を認める

ノイズキャンセラーを使う  
ノート代わりに写真を撮る

忘れてたら声をかけて  
忘れ物しちゃったら貸して  
勘違いしてたら教えて

# 日常レベルのサポート：ナチュラルサポート①

ちょっとしたことだけど、当たり前のようにだけど  
とても重要、とても役立つ

- 生徒同士の情報はとても重要だけど要注意：誤った情報もあります
- AIに相談する：便利だけど要注意。必ずしもあなたの事情にあった情報とは限りません
- どの人を信頼したら良いか？
- 信頼できる人に相談する
  - 履修登録：どの先生の授業をとったらいと思う？
  - 時間割を決める相談にのって
- 友だち（ヨッ友で良い）に相談する・依頼する
  - テキストってどこで買うの

# 日常レベルのサポート：ナチュラルサポート②

ちょっとしたことだけど、当たり前のようにだけど  
とても重要、とても役立つ

- 課題や試験でよくわからないことがある
  - まずは、シラバスや掲示板を確認
  - 同じ授業を受けている人に聞く：「知っていたら教えて」
    - 「課題って何をやるの」
    - 「先生（教授）は何をやるように言っていた？」
    - 「課題の提出っていつまでだっけ」
    - 「課題ってこれでいいの？（自分がやったものを見てもらう）」
    - 「試験で注意すること何かある？」
  - 授業を教えている先生に聞く：あいさつを忘れずに「よくわからなかったなので、もう一度教えていただけますか」
    - 「課題について、何をいつまでにやれば良いですか」
    - 「参考文献や資料等の指定はありますか」

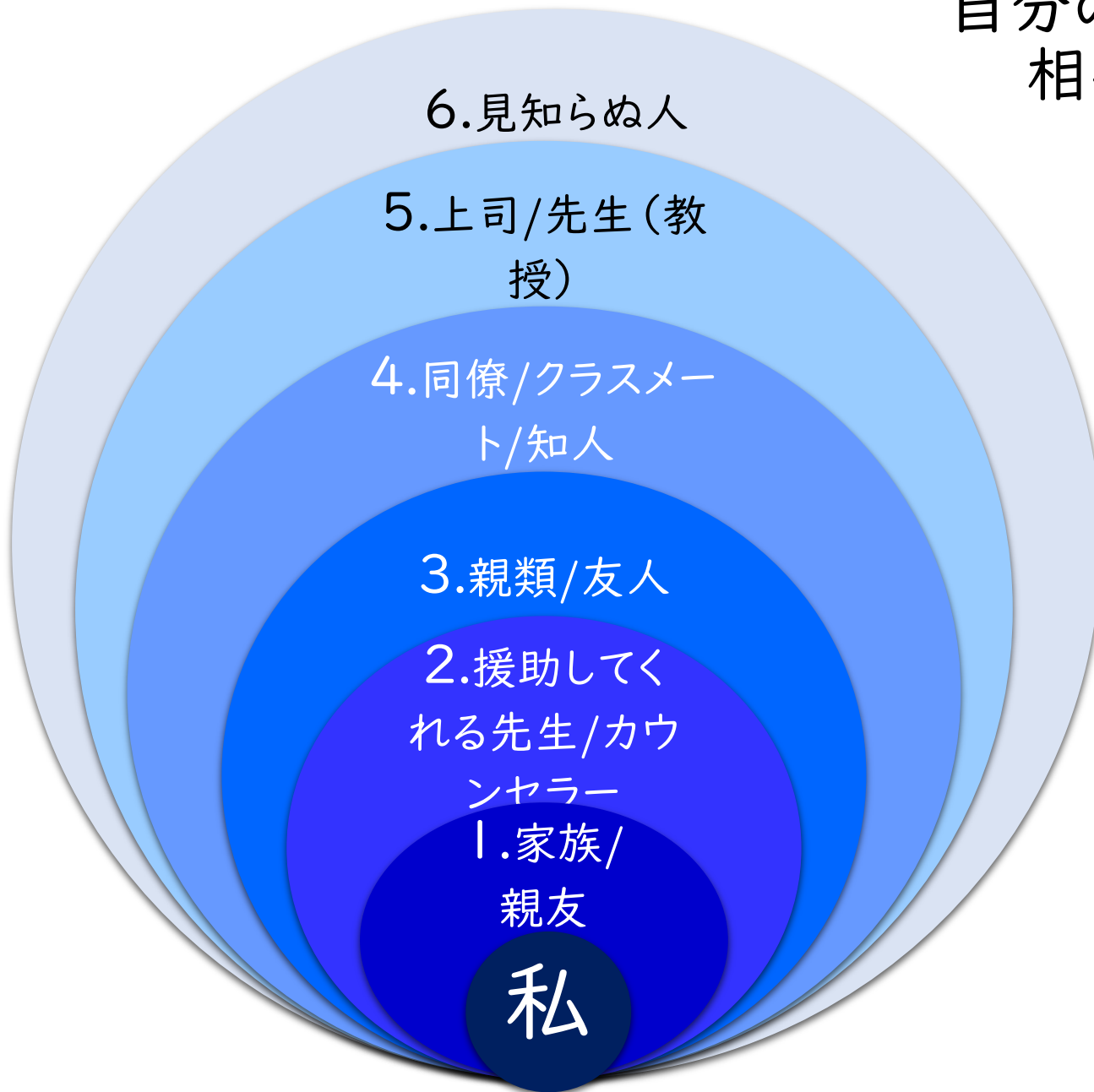
# 日常レベルのサポートで重要なこと

- 相手への感謝を言葉で伝える
- 自分ができること、相手（他者）に貢献する（ギブアンドテイク）
- 自分の権利も相手の権利も尊重する

自分に必要なサポートを  
考えてみましょう

# 自分の困難を説明する 相手を選んでみよう

1. 日常レベル
2. 周囲に理解を求めるレベル
3. 特別な配慮レベル



# まとめ

- 自分の可能性を最大限に発揮するために、セルフアドボカシーが重要です
- セルフアドボカシーとして必要な力は、
  - ①自分の困難がわかる
  - ②必要なサポートがわかる
  - ③必要な場面でサポートを求める
  - ④サポートの必要性を説明する
- 自分の限界がわかりサポートを受けることは立派なことです。
- サポートには、日常レベル、周囲の理解レベル、特別な配慮レベルがあります。
- 日常レベルのサポートは、ちょっとしたことだがとても重要